品 番

ACZ-A型

家庭用

コーヒーメーカー

ドリップタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内100V専用

交流100V以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。

http://www.tiger.jp/

香り立つ、本格コーヒーをご家庭でお楽しみください

家族や友達と過ごす楽しい時間、
のんびりくつろぐときに…
ちょっぴり贅沢な
コーヒー生活はじめましょう。

少量の
本格コーヒーが楽しめる

ホットコーヒー

1杯分のコーヒーでもドリップできて、本格コーヒーを楽しめます。

氷を入れたグラスに
注ぐだけで手軽に楽しめる

アイスコーヒー

アイス用コーヒー粉を使ってドリップ。できあがったコーヒーを氷を入れたグラスに注ぐと、アイスコーヒーとしてもおいしくいただけます。

コーヒーをおいしく楽しむためのポイント

**豆や粉は
必要な分だけ買う**

1週間から10日程度で使いきる量を買うようにしましょう。また、飲むたびに必要な分だけミルで挽いてドリップするとよいでしょう。

**豆や粉を
保存するときは
密封して冷蔵庫に**

高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密封できる容器に入れ、冷蔵庫など低温のところで保存しましょう。

**なるべく早めに
飲みましょう**

冷めたり、風味がそこなわれてしまうので、早めに飲みましょう。

**代表的な
コーヒー豆の
種類と特長**

中味
・ブルーマウンテン
・ブラジル
・サルバドル

酸味
・キリマンジャロ
・モカ
・コロンビア
・ガテマラ
・ハワイコナ

苦味
・マンデリン
・ロブスタ

もくじ

この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉として表記しています。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

注意

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

禁止

⊘記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

指示

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。
修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。

禁止

交流100V以外では使用しない。（日本国内100V専用）

火災・感電の原因。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

禁止

電源コードは、破損したまま使用しない。
また、電源コードを傷つけない。

（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

必ず実施

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。

必ず実施

差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。

感電やけがをするおそれ。

禁止

コーヒーサーバーなしで使わない。

やけどや故障のおそれ。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは湯出口・フィルターふた・フィルター・サーバー台などの高温部に触ったり、顔などを近づけない。

やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

水ぬれ禁止

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電のおそれ。

必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

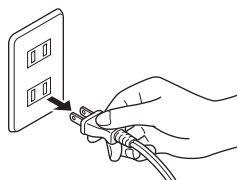
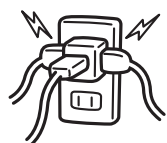
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
〈異常・故障例〉
- ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- 水タンクや本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

安全上のご注意

⚠注意

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

倒したり落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
故障や、水タンクふた・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。

専用のコーヒーサーバー以外は使わない。
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

抽出中にコーヒーサーバーをはずさない。
やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

コーヒーサーバーをのせたまま本体を動かさない。
やけどやけがの原因。

コーヒーサーバーの中にコーヒーが入っていない状態でのカラだきはしない。
コーヒーサーバーが割れるおそれ。また、故障や火災の原因。

コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。
破損して、やけどやけがの原因。

コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
破損して、けがの原因。

コーヒーサーバーが熱いうちに水の中にいれたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない。
傷がつくと破損の原因。もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう充分に注意する。

水タンクに水が入っていない状態でのカラだきはしない。
故障や火災の原因。

続けて使用するときは、本体が冷めるまで（約10分）待つ。
すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。

蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

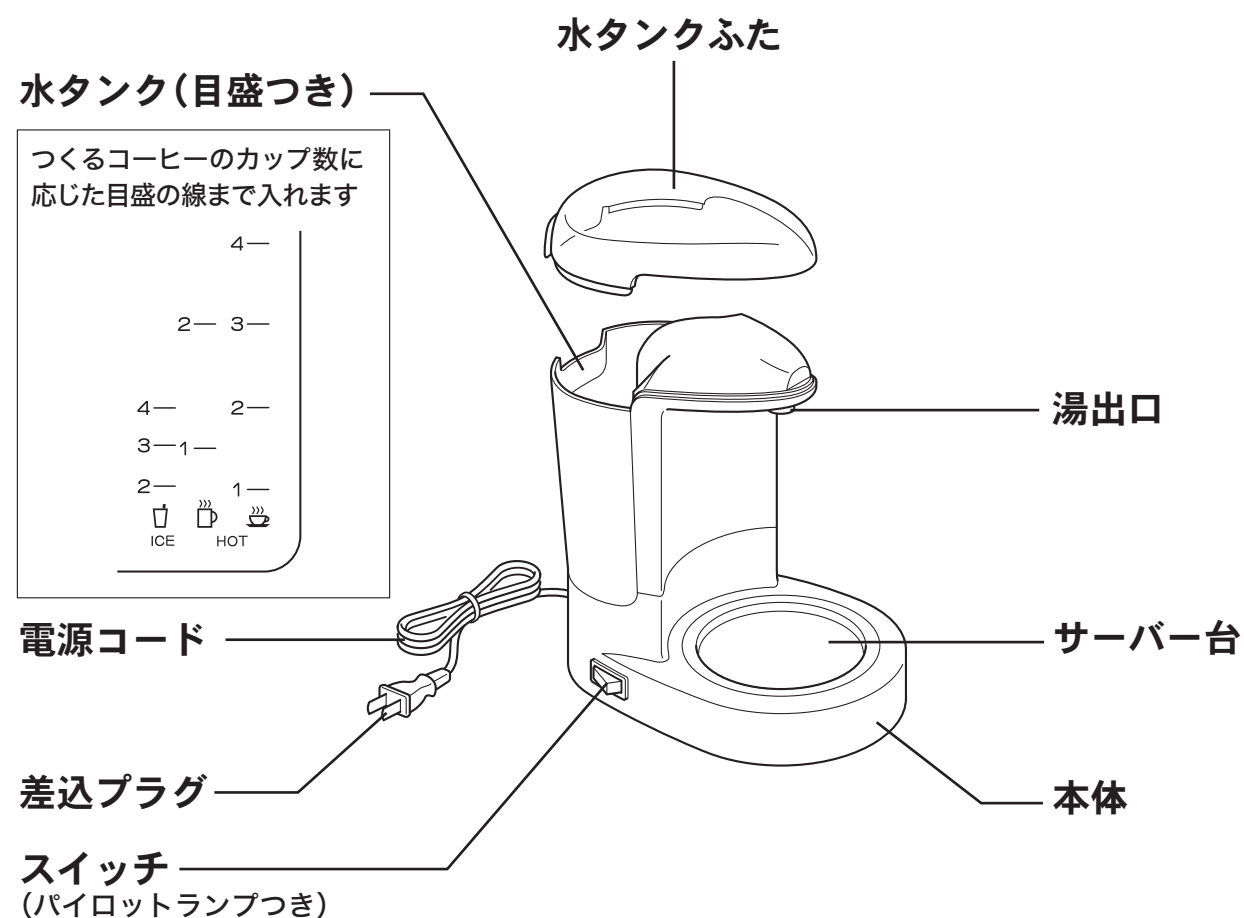
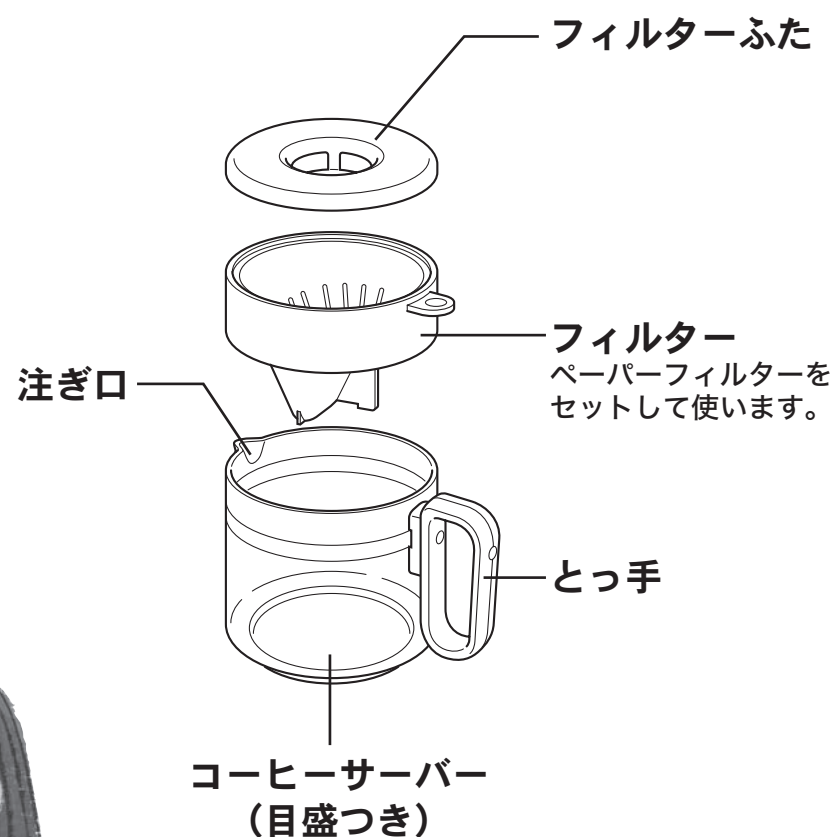
本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。

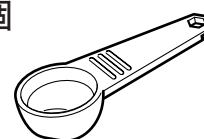
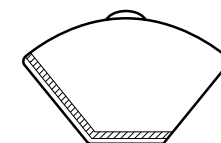
お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれると、やけどのおそれ。

末永くご使用いただくためのご注意

- **火気の近くでは使わない。**
  変形・故障の原因。
- **業務用として使わない。**
  故障の原因。
- **水タンクに水以外のものを入れない。**
  故障の原因。
- **ペーパーフィルター以外のフィルターを使わない。**
  抽出がうまくいかない、故障の原因。
- **水タンクに水を入れたまま放置しない。**
  故障や変色・におい・腐敗の原因。
- **フィルターやサーバーは使うたびにお手入れする。**
  においの原因。
- **ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。**
  本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。

各部のなまえと付属品

箱をあけたら、
まず確認しましょう！

付属品

計量スプーン…1個
すり切り1杯 約7g

ペーパーフィルター…5枚
市販のものも使えます。
（サイズ1×2または102）

はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

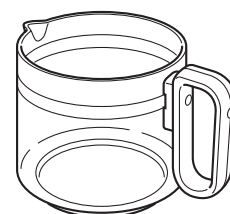
お手入れして、ドリップで本体内を洗浄。
コーヒーメーカーをきれいにするのが、
おいしいコーヒーづくりの第一歩！

1 本体以外の部品を水洗いする。

→P.16

水タンクふた

フィルターふた

コーヒーサーバー

フィルター

2 本体内を洗浄するために、1 ～ 2回ドリップする。

→P.12 ～ 15

水は、水タンクの ☕ の目盛「4」まで入れます。
（コーヒー粉やペーパーフィルターは、セットしない。ドリップ後のお湯はすてる。）

ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる

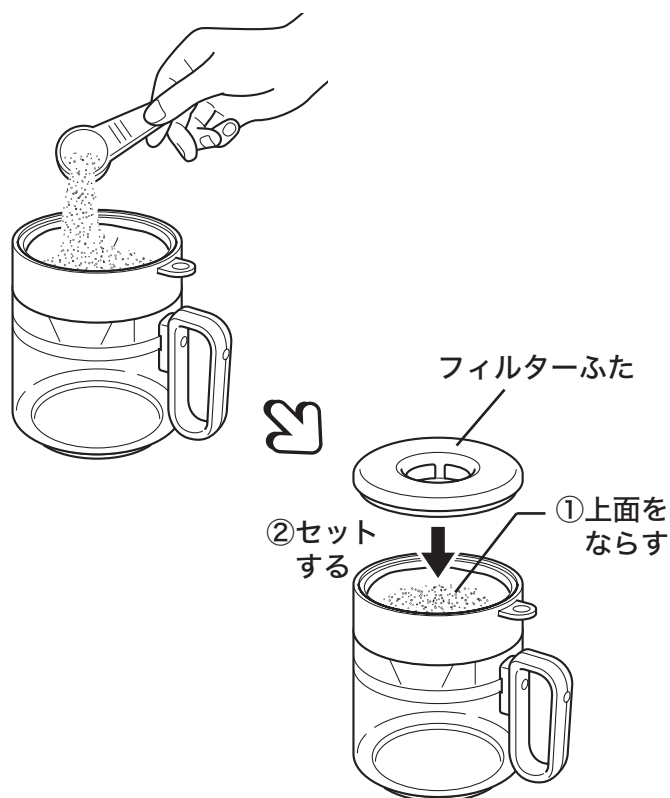
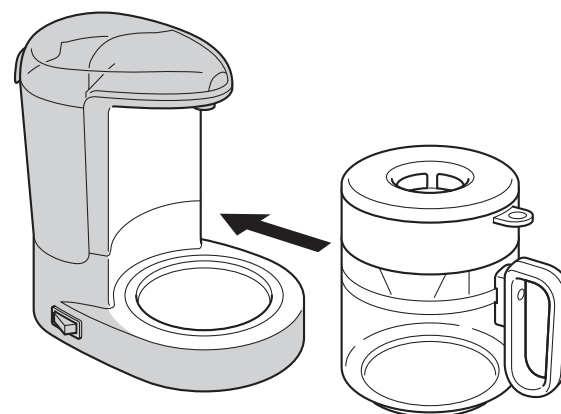
—ドリップ

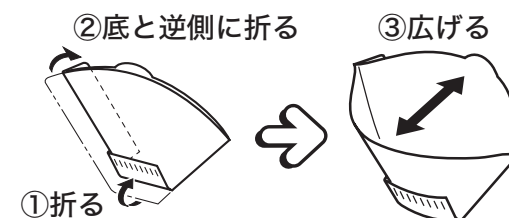
カフェで味わうような本格コーヒーが
おうちで手軽に楽しめるのね。

1 フィルターを コーヒーサーバーにのせ、ペーパーフィルターをセットする。

市販のペーパーフィルターも使えます。→P.9

2 付属の計量スプーンで、コーヒー粉を ペーパーフィルターに 入れて上面をならし、フィルターふたをセットする。

【アイスコーヒーをつくるとき】
アイス用コーヒー粉を使います。

3 コーヒーサーバーを本体に正しくセットする。

ペーパーフィルターの折りかた

底と横のミシン目を、約1cm折り曲げます。

コーヒー粉を入れる目安

◆コーヒー粉はお好みにより加減してください。
◆カップ数より少ない量はつくらないでください。

ホットコーヒー

カップ数	コーヒー粉（計量スプーンすり切り）	
	マグカップ 約180mL	デミタスカップ 約120mL
1カップ	1.5杯	1.5杯
2カップ	3杯	2杯
3カップ	–	3杯
4カップ	–	4杯

アイスコーヒー

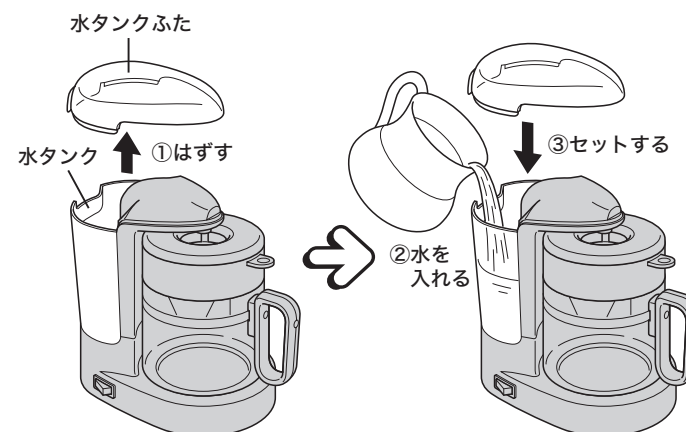
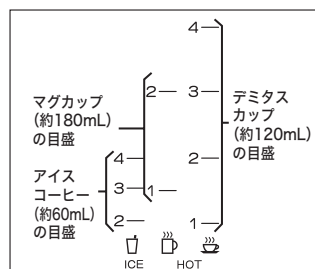
カップ数	コーヒー粉（計量スプーンすり切り）
	1カップ 約60mL
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯

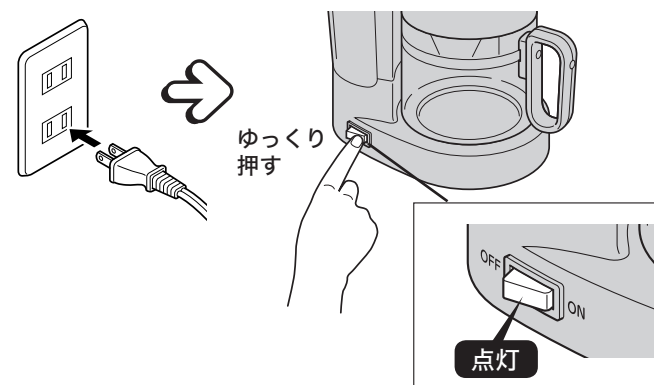
ご注意

フィルターふたをフィルターに必ずのせる。
コーヒー粉の飛び散りの原因。

ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる
—ドリップ

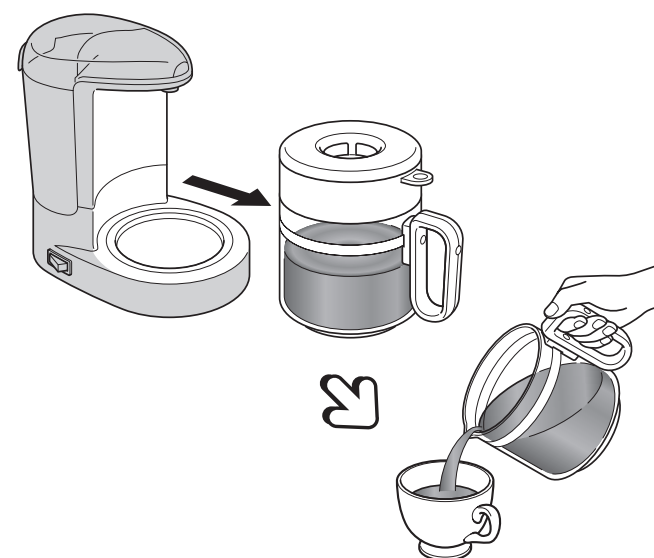
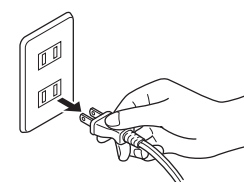
4 水タンクふたをはずして水タンクに水を入れ、水タンクふたをしめる。

つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。
（ の目盛「4」を超えて、水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。）

差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にして点灯を確認する。

スイッチが「OFF」になっていることを確認してから差し込みます。

できあがったら、スイッチを「OFF」にして、コーヒーを注ぐ。

【保温するとき】
スイッチをONにしておく。

【コーヒーを注ぐとき】
お湯や蒸気が完全に止まってからサーバーを取り出し、フィルターをはずし、カップなどに注ぎます。

【アイスコーヒーをつくるとき】
グラスに約8分目まで氷を入れてからコーヒーを注ぎ、かきまぜて冷やします。

使用後は、差込プラグをコンセントから抜く。

水タンクには水を入れる

お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の原因になります。

保温するとき

コーヒーができあがっても、スイッチを「ON」のままにしておきます。（保温は、15分くらいまでにしてください。）

熱めのコーヒーをお好みの方は

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

ドリップ後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、フィルターからペーパーフィルターごと取り出します。

続けてつくるとき

①本体が冷めるまで（約10分）待ちます。
②必ず先にコーヒーサーバーをセットしてから、P.12からの手順で、再度、ドリップします。

できあがり時間の目安

約3分～ 8分でできあがります。
※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などにより変わります。
※できあがり温度の目安：約76℃。

ご注意

◆水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
◆抽出中にコンセントから差込プラグを抜かない。間違って抜いた場合は、いったんスイッチを「OFF」にして、再度、手順「5」から行う。
◆水タンクの水がなくなっても、しばらくお湯が抽出されます。

お手入れする

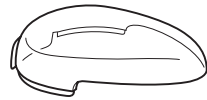
こまめにお手入れして、
清潔・長持ち！

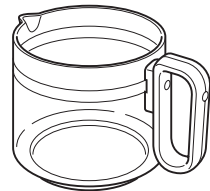
◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れします。
◆洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使います。
◆スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。

使うたびに洗う部品

使うたびに、毎回必ず洗ってください。

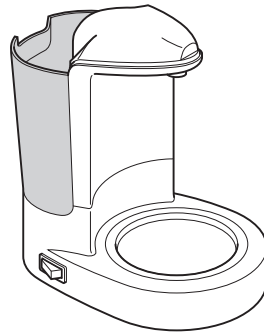
フィルター

水タンクふた

フィルターふた

コーヒーサーバー

1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。

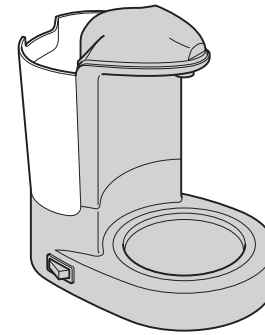
2 乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

水タンク

水ですすぐ。
(洗剤は使わない)

ご注意

◆シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
◆食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。

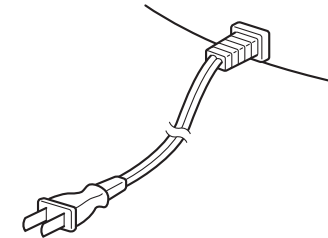
汚れるたびにお手入れする箇所

本体外側

1 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。

2 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、充分に乾燥させる。

電源コード

差込プラグ

乾いた布でふく。

ご注意

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

お湯の出具合が悪くなったとき

(クエン酸を使って、ミネラル成分を取り除く)

1 フィルターふたとフィルターをコーヒーサーバーにセットする。(ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。) →P.12・13

2 コーヒーサーバーを本体にセットする。 →P.12・13

3 水タンクにクエン酸約10g (大さじ1杯) を入れ、☕ の目盛「4」まで水を入れてまぜる。

4 ドリップする。 →P.14・15

5 クエン酸水が水タンクの ☕ の目盛「1」まで減ったら、スイッチを「OFF」にする。

6 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。

7 コーヒーサーバーのお湯をすてる。

8 クエン酸水のにおいをとるために、水タンクの ☕ の目盛「4」まで水を入れ、1 〜 4回ドリップする。(ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリップ後のお湯はすてる。) →P.12 〜 15

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
スイッチを「ON」にしてもランプがつかない。	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込んでください。	14・15
	スイッチを確実に押して「ON」にしていますか。	スイッチをゆっくり確実に押してください。	14・15
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れてください。	14・15
お湯の出具合が悪い。(時間がいつもより長くかかる)	−	ミネラル成分を取り除いてください。	17
コーヒーサーバーからあふれる。	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの の目盛「4」を超えて、水を入れない。	14・15
	フィルターをセットしていますか。	フィルターを確実にセットしてください。	12・13

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
コーヒーがぬるい。	抽出したコーヒーの量が少ない（1～2カップ）と冷めやすくなります。		15
	寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温効果が得られない場合があります。		
樹脂部品にキズ（欠け）のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
樹脂などのにおいがする。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		

消耗部品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。

◆樹脂部品（傷んできたとき）

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。上記までお買い求めください。

◆コーヒーサーバー（破損したとき）

コード番号	ACZ1003

仕様

電源	消費電力(W)	満水容量*(L)	抽出方式	外形寸法*(cm)			質量*(kg)	コードの長さ*(m)
				幅	奥行	高さ		
100V 50-60Hz	550	0.53	ドリップ式	25.1	13.7	23.8	1.1	1.25

＊印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら」→**P. 18**をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗部品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 ･･･ おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき ･･･ まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 ･･･ 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。

部品代 ･･･ 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。